

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） ～ 埋立部外周護岸の捨石マウンド概成 ～

～ 記者発表資料 ～

24時間365日の昼夜連続施工で進められている東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路）の埋立部において、9月14日（日）、外周護岸の捨石マウンドが概成しました。

埋立部では、昨年4月の工事着工から進めていた地盤改良工事が本年3月に完了、1月から施工を開始した築堤工^{*1}が7月に完了、築堤工完了箇所から捨石^{*2}を順次投入し、埋立部外周護岸（延長約4,500m）の築造工事を本格化させた結果、9月14日（日）、埋立部外周護岸の全区間（一部、工事中開口部^{*3}を除く）において捨石マウンドが海上に姿を現しました。これでD滑走路空港島埋立部の全体形状が明らかとなりました。

引き続き、捨石マウンドの均し作業を急ピッチで進め、上部ブロック（波が護岸を超えないようにするコンクリートブロック）の据付及び被覆石^{*4}の据付等を行い、外周護岸を概成させます。

今後は、埋立部外周護岸内側の工事が主体となり、護岸背後に中仕切堤と呼ばれる間仕切りを施工し、外周護岸と中仕切堤の間に管中混合処理土^{*5}の投入、中仕切堤の内側には山砂等の投入を行い、埋立工事を最速で進めていきます。

- *1 築堤工 : 地盤改良後の海底地盤上に石材を投入して築堤し、捨石マウンドの基礎となるもの。
- *2 捨石 : 防波堤や岸壁などの基礎に投入される石（30～200kg/個）。
- *3 開口部 : 埋立工事が進捗するまで、船舶航行用に外周護岸を開けている区間を3箇所設けている。
- *4 被覆石 : 防波堤や護岸の基礎捨石上（波を受ける側）に配置される防衛用の大きな石（500～1,000kg/個）。
- *5 管中混合処理土 : 軽量盛土工法の1つで、本工事では護岸安定性に寄与する埋立用材。資源の有効利用という観点から、航路浚渫、床堀等で発生する浚渫土に固化剤を添加し、外周護岸背面の埋立用材として投入する。

平成20年9月19日（金）

国土交通省関東地方整備局 東京空港整備事務所

同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会
都庁記者クラブ	千葉県政記者クラブ	東京航空記者会

問い合わせ先

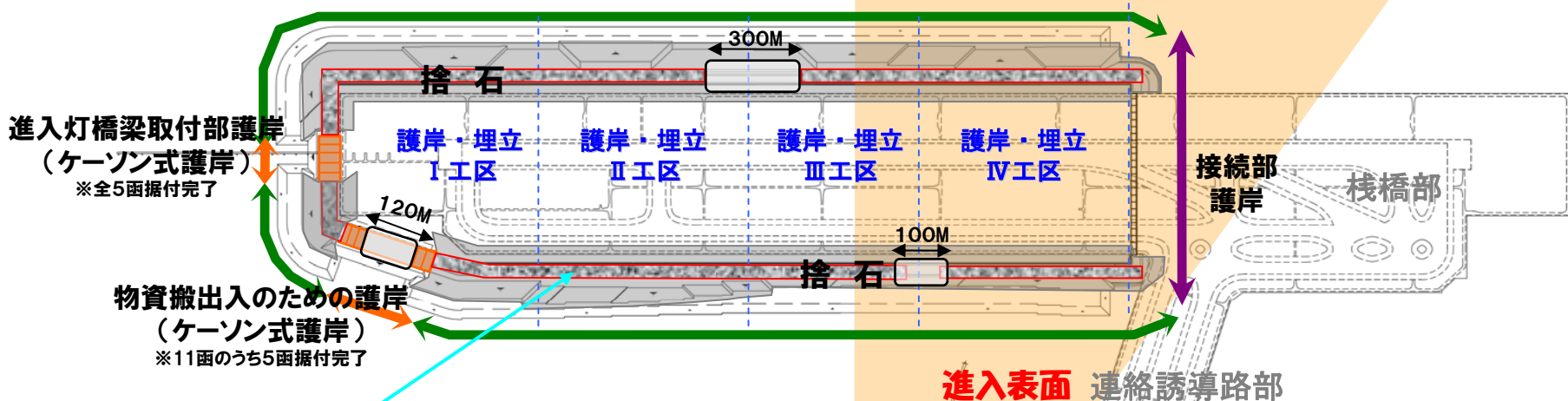
国土交通省 関東地方整備局東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室
担当 ^{うえはら}上原・^{はらだ}原田

住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンターアネックス 5階
電話 03-5756-6577
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

護岸概成状況



傾斜堤護岸



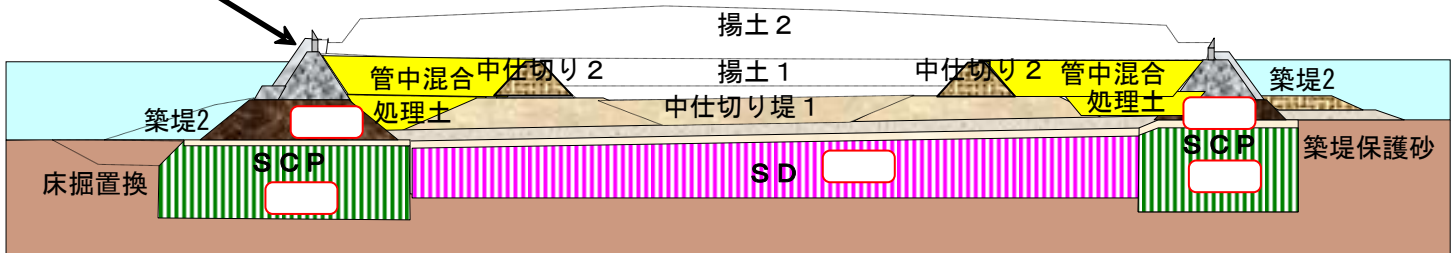
- 傾斜堤護岸
- ケーソン式護岸
- 接続部護岸
- 捨石マウンド出現エリア



完成イメージパース (埋立部全景)

埋立部 (傾斜堤護岸) 標準断面

消波ブロック



埋立部外周護岸の状況

